

小暑のラヴィータトレ

盛夏の頃となりましたが、ご家族様いかがお過ごしでしょうか。

トレに於きましては、暑い日常を楽しく利用者様に過ごして頂くべく、ささやかなイベントを開催いたしました。

7月2日、車2台に分乗して舞洲にドライブ。途中、ショッピングセンターにてかき氷、ソフトクリーム休憩で涼を取り、ユニバーサルスタジアム外周道路から此花大橋へ。大阪港の絶景を楽しみつつ舞洲を一周して帰路につきまし



利用者の皆さん大変喜ばれ「また連れて行ってね」「ソフトクリーム美味しかった」と職員一同、次のイベントに向けてうれしい感想をいただきました。

続く7月19日、納涼感を味わって頂くべく、そうめん、稲荷寿司、スイカを昼食メニューにしました。



「夏らしくておいしそうやな」と「涼しくて、ありがとうね」と皆様あつという間に完食されました。おやつには職員手作りのチーズケーキを提供、職員もご相伴にあずかり利用者様と納涼感を共にいたしました。

小暑から大暑と暑い日が続きますが、利用者様の体調に気を付けながら、楽しい日常を共に過ごしていけるよう職員一同頑張っています。

トレ 中西 大造



暑いね、昼食何にしましょうか

そろそろ、暑さと湿気で身体の不調が気になり始め「何かさっぱりした物が食べたいね」と言う声に「ええ、6月22日の昼食を「しらす丼と冷やしうどん」を作る事になりました。



「多量に野菜等の買い出し、当日購入した「しらす」野菜は職員が切り揃え、盛り付けは利用者さんにお願ひしました。テーブルに材料、お皿を並べ「久々だから、うまくできるかな」の掛け声で始まり「あんだ、そこ、もうちよつと入れなあ」と「多い少ないがあつたら喧嘩になるで」「ええねん、そんなに気にせんで」等お喋りも弾み、手の動きも軽やかでした。ゆっくりと、絵を描く様に丁寧な盛り付けている方もいました。

うどんの白、きゅうりの緑、錦糸卵の黄色と色



鮮やかでしたが、カニかまの赤も入れれば良かったねと言う声もありました。最後に胡麻ドレッシングをかけて完成。意外とあっさりして食べやすいく美味しかったです。しらす丼の盛り付けも賑やかに、手際よく準備ができました。

久々の利用者さんとの食事の準備でしたが「楽しかった、また作りましょうね」の声を聞き、ホッとした。これからも外出できない中、一緒に楽しめる事を探していきたいと思えます。

トレ 北農 美鈴



介護保険 負担割合証 について

未だの方が居られますので、再度ご連絡致します。

左に図示しました、介護保険負担割合証が7月31日に更新を迎えます。住所をラヴィータドゥーエに（西九条2-15-16）されている入居者様はこちらの方で開封、確認、保管させて頂きます。他の住所にされている入居者様、及びトレ利用者様は7月中旬に新しいものが届いていると思います。ご一報お願い致します。

ドゥーエ入居者様はお預かりし、トレ利用者様はコピーを作成させていただきます。

どうぞよろしくお願ひ致します。

介護保険負担割合証	
支社年月日	令和 年 月 日
番号	
被保険者氏名	
生年月日	昭和 年 月 日 性別
利用者負担割合	適用期間
1割	開始年月日 令和 年 月 日 終了年月日 令和 年 7月31日
271007	
大阪市 介護保険 認定書	
大阪市北区藤屋センター 〒554-0012 大阪市此花区西九条2-15-6 電話 06-6313-9859 FAX 06-6313-9905	

ウィズ コロナ

連日の猛暑日、当施設でもクーラーが大活躍し、電気代の請求がどうなるのか戦々恐々としています。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

窓越しの写真ではありませんが、西九条神社のお祭りが3年ぶりにやってきました。やっぱり、お囃子の音は心躍るようで、皆さまベランダに出たり、窓から覗いて一緒に手を叩いて楽しんでおられました。

さて、新型コロナウイルスの感染者数は高止まりしていますが、この2年間で新型コロナウイルスについて少しずつ分かってきている事があり、ただただ怖れるのではなく、うまく付き合っていくという社会になってきました。

当施設でも、感染対策をしっかり行いながら、入居者様とスパーに買い出しに出掛けたり、近場に外出したりとコロナ前の日常を少しずつ取り戻しています。

まだまだ高齢者は重症化しやすいとの考えから、行動制限をされがちですが「高齢者や基礎疾患のある方」はどの病気にも重症化しやすいと思えます。20年程高齢者施設に関わっています。その風邪をこじらせて、体力を落とし、そのまま寝たきりになったり、永眠される方を見ってきました。他の病気との差を統計的に見ているのか、少し疑問に感じるところがあります。高齢者も部屋に閉じこもるのではなく、感染対策をしっかりと行い、積極的に生活する事が一番良いように思います。

施設長 大西 秀

～ 第 3 2 号 ～

令和4年8月発行

認知症対応型共同生活介護
ラヴィータ・ドゥーエ
小規模多機能型居宅介護
ラヴィータ・トレ

〒554-0012 大阪市此花区西九条2-15-6
TEL06-6147-8070 FAX06-6147-8071
http://www.lavita-uno.jp



ふうみ通信



施設長 大西 秀

3Fのリーダーになりました

ご挨拶が遅くなりましたが、5月から3Fのリーダーになりました。山本です。よろしくお願ひします。

以前はドゥーエ（グループホーム）から始まり、ウーノ（特別養護老人ホーム）からトレ（小規模多機能）のリーダーになり、今回3Fのフロアリーダーになりました。



考え、ドゥーエでの生活を楽しく安心して暮らせるようなフロアにしていきたいと思っております。そのためには家族様にもご協力をお願いするかもしれません。その時は、よろしくお願ひいたします。

5月・6月の時点でコロナの感染者数も落ち着き、外出等の機会を色々考えていました。7月に入ってからコロナの感染者数が急激に増え外出が難しくなりました。

今後は施設内だけで何か楽しめるイベントを職員一同でどんどん考え、利用者さんにとって楽しく思ってもらえるような3Fフロアにしていきたいと思っています。

3F 山本剛史



久しぶりの外出

コロナが流行してなかなか外出する事ができませんでしたが、5月・6月には利用者全員、個別ではありますが、外出する事ができました。



制限している人も「久しぶりに美味しいもん食べれて嬉しいわー」と笑顔で頬張っていました。

近所のライフに、食事の買い物に出かけた人たちはカートを押しながら「これはどこにあるやろー」「昔はよく行つたのにな」と職員と一緒に品物を探したり、レジでお金を払ってから袋詰めしたりと、とても表情が生き生きしていました。

また別日には、広告を見て「これ美味しそうやなーたべたいなー」その一言で、期間限定のドーナツを買った職員と車で行きました。その日は普段おやつを

早くコロナも終息し以前の様な生活、家族さんも参加してもらえなると思っています。

4F 本田 真由

開放感溢れるひと時を

「よくあのお店に外出に行つたよね！あの時は普段とは違う笑顔で、いつになく食が進んで、いたよね！」なんて、不安なく外出が楽しめる時間を振り返る会話を幾度となくしてきました。

長く続く制限下を乗り越え、私自身、コロナとの共存が身についた。安全に外出できる！と感染対策を実施した上で、少し振りに少し足を伸ばして、海老江のイオンスタイルまで出掛けました。

午前中の早い時間帯でまだ人もまばらなテラス席。スーパーで購入したお弁当を日差しと風を感じながらゆっくりと楽しんでいると、遊び始めました。

普段は居室で過ごすことが多く、また日々



長く続く制限下を乗り越え、私自身、コロナとの共存が身についた。安全に外出できる！と感染対策を実施した上で、少し振りに少し足を伸ばして、海老江のイオンスタイルまで出掛けました。

午前中の早い時間帯でまだ人もまばらなテラス席。スーパーで購入したお弁当を日差しと風を感じながらゆっくりと楽しんでいると、遊び始めました。

普段は居室で過ごすことが多く、また日々

まだコロナの終息は見通せず、制限なく外出を行える日は遠そうですが、細心の注意を払った上で活気に繋がる支援を行っていききたいと思っています。

4F 藤澤 祐子



2Fのリーダーになりました

ご挨拶が遅れましたが、異動があり5月より2Fのリーダーをさせて頂いていきます、角田です。よろしくお願ひします。

グループホームでは各階で仕事をし、2F ↓4F ↓2F ↓3F ↓2Fと2Fで勤務をするのは3回目です。1年弱ぶりに戻って来ましたが、今までは、各階でサブリーダーとして働いてきました。その間に少しずつですがリーダー業務にも携わってきました。見た目には分からない大変な事もあるのだと感じました。そんな業務を私が出せるのかと不安はいつぱいありますが、ラヴィータで働き出して7年。やるしかないと思ひリーダー業務をさせて頂いていきます。



2年ほどコロナウイルスの感染が増えたりして、おもうように外出・外食・イベントなどが出来なくなり施設内で過ごす事が多い日々でした。感染者の少ない時期を見計らい外出し、入居者さんの笑顔が見られた日もありました。施設内は暗いというイメージを吹き飛ばすくらい、仕事に對しても、イベントなど何事に対しても、入居者さんに寄り添い職員同士何でも言い合い意見を出し合い、楽しく・明るく・笑顔の多い2Fフロアにしていきたいと思ひます。

これからもよろしくお願ひします。

2F 角田 佳代

ありがとう！8年間の思い出

早いもので、私はラヴィータでお世話になりましたが、先輩職員や、ご家族様と一緒に、この度、子どもを授かり、8月から産休に入らせて頂くことになりました。

8年前は、学校を卒業したばかりで、介護の基本すら分からないほどの初心者でした。実習やアルバイトで経験したものは大きく違い、一日の流れを決め、食事、掃除、買い物を入居者の皆さんと一緒に、家と同じように過ごす日々、新しい発見や、刺激を受けました。

その他にも、心に残っている、思い出が紹介しきれないほどあり、過去のフロア全員、職員総出で、ニフレルまで外出したことが、回転寿司や中華を食べに出かけたこと、ピザパーティーやバイキング、入居者さんと一緒に、沢山の思い出が出来ました。悩んだこと、笑ったこと、沢山ありました。こうして、皆さんと離れるのはとても寂しく、心細くもありましたが、ドゥーエで過ごした日々を思い出して、子育てに奮闘したいと思います。

8年間サポートしていただいた、職員の皆様。入居者様。ご家族様。本当にありがとうございました！

2F 山本 彩加



猛暑の日々が続き、コロナ感染に注意しながらの外出はなかなか難しいと考え、フロアで皆と楽しめる事を職員で話し合い、七夕の日には少しでも涼しさを感じればとスイカ割りを行行！しかし、早くに割れたので、順番待ちの人は「もう、割れてしまった」と残念がっていました。小さく割れたのでおやつに提供すると「美味しいわー」と皆が笑顔で頬張っていました。それをみていた職員も笑顔で過ごす事ができました。

夏を楽しもう！



7月23日は土用の丑の日なので、うなぎをテイクアウトし、昼食に食べました。「鰻、嫌やわ」と言っていた人が「これで元気になるな」と言う人も甘辛いたれが気に入る「美味いわ」とぺろりと食べていました。美味しい食べ物には皆が笑顔になる魔法がある様で、7月30日にもリクエストがあった55人予定で、また皆の笑顔が見れると楽しみにしています。

8月も夏祭りをささやかながら予定して、焼きそばやかき氷など屋台飯を吹っ飛ばし、皆の笑顔と共にこの夏を乗り切りましょう！！

3F 蓑田 麻須巳



7月14日はKM氏のお誕生日会があり皆でハッピーバースデーを唄い、「おめでとう」と声を掛けると今まで一番の笑顔でろうそくを吹き消し「皆さんどうぞ」とご家族からの誕生日ケーキを振舞っていました。もち